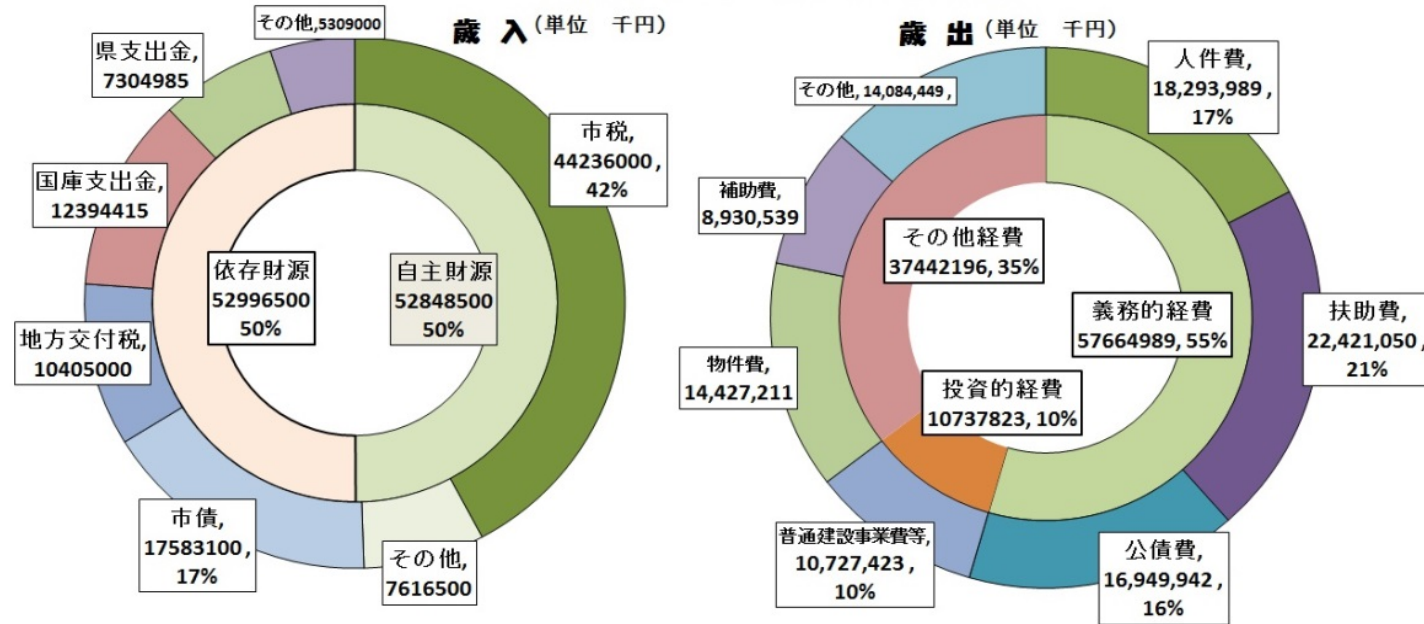


3月定例会にて、平成26年度当初予算案を審議、承認しました。

平成26年度 一般会計当初予算

歳入・歳出ともに 1.058億4,500万円



一般会計予算案1058億4500万円のほか、国民健康保険特別会計予算案258億6100万円、介護保険特別会計予算案239億5800万円などを含む総額2085億1400万円となりました。

26年度の予算では観光事業と中心市街地のまちづくりに重点が置かれている印象です。昨年に引き続き、福井駅西口中央地区市街地再開発事業や福井駅西口広場の整備、今年は新たにグリフィス記念館整備事業が始まり、福井市中心市街地周辺の賑わいの拠点づくりが進むこととなります。

また、来年3月には北陸新幹線が金沢まで開業することから石川、富山にも劣らない観光資源を開発、磨き上げることが急務となっており、朝倉氏遺跡周辺や中心市街地、越前海岸の観光と魅力を引き上げる施策が多く盛り込まれています。

一般会計予算の歳入では、景気上昇を見込み市民税の増収や家屋の新築・増築による固定資産税の増収が見込まれることから1.6%増の442億3600万円を計上する一方で、借金にあたる市債も前年度11.2%増、歳入全体の17%を占めています。歳出では、自然増加傾向にある生活保護や高齢者・子育て・障害者支援などに使われる扶助費の割合が一般予算全体の21%、市債などの借金返済に使われる公債費が全体の16%となります。

市は、少子・高齢化が進展するなか、今後、厳しい財政収支が予想されることから、福井市健全財政計画及び行財政改革の推進を図っていきます。

ホームページもご覧ください

泉和弥

検索

<http://izumikazuya.jp>



福井市議会議員

泉和弥

<https://www.facebook.com/izumikazuya3632/>

住民力

ひとりひとりが、
地域を育てる。



福井市議会議員

こんにちは！泉かずやです。

泉かずや事務所：福井市次郎丸町 36-32 ☎ 0776-53-4659 Mail: izumikazuya.civ@gmail.com

6月定例会が6月5日～6月27日の23日間で開催されました。
9月議会は9月2日～9月24日まで開催

大丈夫か？10月1日・藤岡サッカー場の供用開始。

質問 藤岡グラウンド整備事業は、平成25年度事業として9,000万円の事業費が計上されて年度中には工事は完了し、現在は芝生の養生を行っており、今年10月ごろに供用を開始する予定と聞いている。しかし新築された選手ベンチの後方は深くくぼみ、1日前に降った雨で大きな池に近い水たまりができ、選手ベンチ後方の広範囲な空き地には、大きな石や瓦れきのような土が盛られている状態で工事途中ではないかと思わせるグラウンドになっている。決められた予算、決められた工事は、確かに行われたのかもしれないが、そこに福井市のサッカー競技環境が向上するよきとの思いが感じられない。ベンチ後方や未整備区画についても有効利用できるよう検討すべき。

教育部長 この工事の実施に関して、整備方針の検討から市サッカー協会と十分な協議を重ねており利用者や大会主催者の視点に立った設備や備品を導入するなどの取り組みも進めてきた。現在は、芝生養生などグラウンド全体の管理を市サッカー協会に業務委託しており、10月1日の供用開始に向け、雑草の除去など整備を行っている。グラウンド以外の未整備分についても供用開始までには市サッカー協会と活用策を協議して整備していく。

※ 未整備区画も整地を行い、駐車場としての利用が可能となりました。



不法投棄防止カメラの効果と今後の予定について

質問 市内山間部、あるいは人目のつかない場所に不法投棄する一部の心無い人達は後を絶たない。本市では、平成23年度に不法投棄防止カメラを2台設置しているが、設置の現状と効果はどのようになっているのか。今後、増設する予定はないのか。

市民生活部長 監視カメラはH23年8月から市内山間部道路沿い山林や市民の目の届かない場所2か所で、4か月ごとに移動している。設置した場所においては設置時、設置後にも不法投棄がみられておらず一定の効果が認められている。今年度8月に1箇所増設し、3か所で監視していく。

どうなる地域の美化運動

26年度当初予算では、各自治会・各地区への美化活動への支援金が減額され、福井市自治会連合会から、これでは市民の美化運動が継続できないとの声があがりました。

3月定例会 予算特別委員会にて

泉 自治会連合会に交付しているリサイクル推進協力金が平成25年度が1,540万円で、新年度が550万円の予定ということは3分の1に減額となるのはなぜか。また、ほとんどの地区が作成しているごみカレンダーをはじめ、これまで協力金を利用して行ってきた地域の美化活動が維持できないとの声があるが、どのように対応するのか。

市民生活部長 資源化活動を支援する各種協力金は、ごみステーションを通して分別排出されたアルミ缶等の売却益を原資としているが、市場価格の下落とごみステーションでの収集量の減少により売却益が減少しているため、大幅な減額となった。地域の美化活動を維持していくためにも、この事業における各種協力金全体の中で、特に大幅な減額となるリサイクル推進協力金の減額分を極力圧縮するよう、配分方法について検討したい。

泉 要望として 売却益を原資として、美化活動に使うということ自体が難しくなっているのだから、根本的なところを見直さないといけない。将来、自治会連合会の美化活動が止まってしまうということを考えると、今後何らかの予算立てを検討していただきたい。

そもそも、回収空き缶を売却した財源を資源化促進に使っていたが、売却益が多かった時代には地域美化活動に回せていました。近年の減収傾向になった時の対応が後手に回ってしまったのではないかと

6月定例会一般質問にて

泉 ことしの3月の予算特別委員会でも質問をした資源化活動支援事業の各種協力金の中で大幅な減額となるリサイクル推進協力金について、「減額分を極力圧縮するよう配分の方法について検討したい。」との答弁をいただいた。その後の検討の結果、資源化活動支援事業(リサイクル推進協力金)の現状はどうなっており、今後、どういった対応をするのか。

市民生活部長 各自治会連合会に対するリサイクル推進協力金の不足分については、昨年度収支決算書をもとに財源を確保するとともに追加交付していきたい。また、市民のごみの分別や減量化、環境美化活動を支援する取り組みは必要であると考えており、今後の資源化活動支援事業のあり方については、財源も含め再検討していく。

結果

8月末、清掃整備課からの回答

今までの、空き缶の売却代金を税源とした資源化物の回収を促進するという目的ではなく、「清潔で美しい福井市を創り、おもてなしの質を高める一助となる、地域の清掃や環境美化への取り組みを支援する。」(仮称)地域清掃美化支援事業として定額の財源を確保して、改編することになります。今までの「ごみステーション設置補助金」と「ごみステーション美化協力金」のほか「ごみステーションの補修」や各地区自治会連合会がおこなう「不法投棄対策活動」「清掃活動」、単位自治会の花壇整備や清掃活動とともに「消耗品費」「備品費」として活用できることとなります。

6月議会一般質問 福井の観光資源を生かす郷土の歴史学習をすすめよ

泉 福井市の歴史を見せる、観光資源とするには、福井市民が率先して歴史上の人や場所を知り、広く情報発信していかなければなりません。将来福井を担う子供たちにも伝え、将来どこへ行っても福井を誇りに思い、PRしていってもらうことが大切です。福井市の小学校や中学校では、福井の歴史や偉人などの授業、あるいは、まちなかや一乗谷への校外学習の機会などはどの程度確保されているのか。

教育長 郷土の偉人を扱った副読本「ふるさと福井の人々」を平成9年度から小学校6年を対象に配布し、授業のなかで副読本を活用して学習をしてきた。今年度から今までの25人のほかに3名を追加して改訂した、早い段階から学習できるように5年生も対象に配布した。一乗谷朝倉氏遺跡には40校、2,373人の児童・生徒が昨年訪れている。今後もあすの福井市を担う子供たちに私たちのまち福井への誇りと愛情が育つことを願って、小・中学校での郷土学習に取り組んでいく。



← 今年3月から福井市のマスコットキャラクター「朝倉ゆめまる」も議場に登場！！

3月議会では「新たな米政策に関する意見書について」、6月議会では「北陸新幹線の整備促進を求める意見書について」志政会、市民クラブ、公明党、政友会、一真会の5会派を代表して、本会議場において賛成討論を行いました。

6月議会賛成討論

北陸新幹線は、21世紀における我が国の高速交通体系の柱として、日本海国土軸の形成や国土の均衡ある発展に寄与するとともに、地球環境時代を担う国家的プロジェクトであり、沿線地域の飛躍的な発展を図る上で、大きな効果をもたらすものであります。

北陸新幹線の敦賀開業は平成37年度と言われており、来年春開業予定の金沢や富山に10年以上開業が遅れることは、言うまでもなく街づくりやビジネスそして都市活力の面において、致命的な格差となり、県都福井市が地域間競争に取り残されてしまうことが懸念されます。

去る5月30日に、福井市北陸新幹線建設促進協議会総会において「金沢・敦賀間の開業について、3年の工期短縮を図る。」として決議されました。

また、与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームにおいては、昨年5月から、これまでに新規着工区間の工期短縮に向け、12回の会合を開いています。6月末に工期短縮の与党案を取りまとめ、7月上旬に政府に申し入れるとしており、工期短縮を決する重要な時期にきています。

こうした理由から、工期短縮をする為には、公共事業費の拡充や新規着工区間の貸付料の前倒し活用、貸付料の算定期間の延長などにより、必要な財源を確保するとともに、地方負担については適切な財源措置を講じるよう要請していくことが必要だと考えております。

福井市民の長年の悲願である、北陸新幹線の敦賀までの開業が一年でも早く実現し、大阪までフル規格での整備が図られるよう、本意見書の採択について賛成するものであります。各議員の御賛同をお願い申し上げます、私の賛成討論を終わります。